

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見	
1	1	1 計画の目的	<p>私たちは、今、少子化・高齢化の進展とともに、本格的な人口減少社会を迎えています。その中で、ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）の急速な発達と普及により産業、文化、教育、福祉医療など、あらゆる分野に大きな変化をもたらされるとともに、人々の価値観やライフスタイルの多様化・複雑化が加速しています。</p> <p>また、政治・経済・文化・人口などの東京一極集中が進む陰で、地方における若年層の流出、経済活力の低下などが深刻化し、全国各地において、定住人口・交流人口の拡大や多様な地域の特性を活かした産業興しなど、「地方創生」の取組が進められています。</p> <p>さらに近年、地球温暖化や継続的な地殻変動などにより、大規模な自然災害が多発しています。南海トラフ巨大地震も今後30年以内に高い確率で発生するとされており、あらゆる自然災害から人命を守り被害を最小限に止めるための危機管理の強化が必要となっています。</p> <p>また、令和元（2019）年に出現した新型コロナウイルス感染症は、世界的な流行（パンデミック）を引き起こしました。その影響は医療分野だけでなく、生活様式や教育、働き方など社会全般に及び、グローバル化した経済にとっては世界恐慌以来といわれる最大の停滞をもたらすことになりました。ウイルスとの闘いは今後も長丁場を覚悟する必要があります。感染拡大防止のための医療体制の充実や新しい生活様式の定着などとともに、「withコロナ」や「afterコロナ」と称されるコロナ後の社会や経済のあり方が重要な課題となっています。</p> <p>このような社会・経済を取り巻く様々な変化が、亀岡市民の生活や地域経済に大きな影響をもたらす中で、本市が将来に向けて、豊かな自然環境を守りつつ、子どもから高齢者まで全ての市民が幸せを実感しながら暮らし、また、多くの来訪者や移住者により新たな交流とにぎわいが生まれ、生き活きとした経済活動が営まれる持続可能な社会を実現していくためには、行政のみならず市民や事業者などあらゆる主体が、時代の潮流に適應したまちのビジョンを共有し、一丸となってまちづくりに果敢に取り組んでいくことが求められます。</p> <p>そこで、本市を取り巻く社会や経済の大きな流れを展望し、市民や各種団体、NPO、事業者などあらゆる主体が共有できる本市の将来のあるべき姿を示すとともに、それを実現するための総合的かつ計画的な行政運営の指針として、第5次亀岡市総合計画を策定します。</p>	<p>私たちは、今、少子化・高齢化の進展とともに本格的な人口減少社会を迎えています。その中で、情報通信技術の急速な発展が、高度情報化や国際化の流れを加速させ、産業、文化、教育、福祉医療など社会のあらゆる分野に大きな変化をもたらすと同時に、人々のライフスタイルや価値観にも多様な影響を及ぼしています。</p> <p>また、人口や政治、経済、文化などの東京一極集中が進む裏側で、地方における若年層の流出、経済活力の低下、コミュニティの希薄化などの課題が深刻化し、移住・定住の促進や地域の特性を生かした経済活性化など「地域創生」の取組が全国各地で展開されています。</p> <p>さらに近年、地球温暖化や継続的な地殻変動などを要因とする大規模な自然災害が多発しています。南海トラフ巨大地震も今から30年以内には高い確率で発生すると予測されています。自然災害から人命を守り、社会・経済の被害を最小限に抑えるための防災・減災・危機管理対策の強化が一層重要となっています。</p> <p>令和2（2020）年には、新型コロナウイルス感染症が、世界的な流行（パンデミック）を引き起こしました。医療分野だけでなく、人々の暮らしや働き方、学校教育など社会全般に影響を及ぼし、特に、グローバル化した経済にとっては世界恐慌以来といわれる停滞をもたらすことになりました。ウイルスとの闘いは今後も長丁場を覚悟する必要があります。感染拡大防止のための医療体制の充実や新しい生活様式の定着などとともに、「ポストコロナ」社会や経済の再構築が重要な課題となっています。</p> <p>一方、こうした社会・経済を取り巻く様々な課題を解決するため、「SDGs（Sustainable Development Goals）」の取組が個人、団体、企業、地方公共団体、国など多様な主体のもとで始まっています。SDGsは貧困や地球環境など私たちの社会が直面する諸問題を乗り越えて、持続可能な世界を実現していくために達成すべき国際社会共通の目標であり、平成27（2015）年の国連サミットにおいて採択されたものです。</p> <p>本市は、こうした内外の激しい変化や動きに対応しつつ、豊かな自然環境を守り育て、子どもから高齢者まですべての市民が幸せを実感しながら暮らし、新たな交流や賑わいの中で生き活きとした経済活動が営まれる持続可能なふるさとを市民みんなの力で創っていくことを目指しています。</p> <p>そのため、本市を取り巻く社会や経済の大きな流れを展望し、市民や各種団体、NPO、事業者などあらゆる主体が共有できる本市の未来の姿を明らかにするとともに、それを実現していくための総合的かつ計画的な指針として、第5次亀岡市総合計画を策定するものです。</p>	<p>●SDGsを冒頭の「計画の目的」で触れられたい。</p> <p>●「コロナ後の社会」の表現が適切か。</p>	<p>【市議会意見】</p> <p>【審議会意見】</p>

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見
2	3	第2章 亀岡市を取り巻く社会経済の潮流 1 少子化・高齢化と人口減少	1 少子化・高齢化と人口減少 （下部4行） 本市においても、少子化・高齢化、人口減少が進行している中で、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりや若者の雇用の場の創出、高齢者や女性が活躍できる場の拡大などにより、年齢や性別に関係なく、全世代で支え合える社会をつくることが求められています。	1 少子化・高齢化と人口減少 （下部4行） 本市においても、少子化・高齢化、人口減少が進行している中で、安心して子育てができる環境づくりや若者の雇用の場の創出、高齢者や女性が活躍できる場の拡大などにより、年齢や性別に関係なく、全世代で支え合える社会をつくることが求められています。	●「安心して子どもを産み育てる」の表記については「産む」ということから、主体は「女性」を連想させ、「産んで育てる」のは女性という刷り込みが解消されない。「子どもを産む」＝「女性」、「子どもを持つ」＝「夫婦」という人の感覚に配慮した表現が、また、「子どもを育てる」＝「親、祖父母の他さまざまな社会資源のある」という感覚をもった表現が必要。 【パブリックコメント】
3	5	第2章 亀岡市を取り巻く社会経済の潮流 5 地球環境問題の深刻化	地球規模での人口増加や経済規模の拡大の中で、人間の活動に伴う地球環境への負荷が増大し、地球温暖化や生物多様性の喪失、プラスチックごみによる海洋汚染などの地球規模の環境問題をもたらしています。このような環境の危機を踏まえ、平成27（2015）年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示されたSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）（※）が掲げる17の国際目標の一つとして、気候変動対策や海洋資源の保全が位置づけられたほか、「パリ協定」において温室効果ガスの削減に向けた国際的な合意がされるなど、世界が持続可能な社会の実現に向けて動き出しています。 本市においても、平成24（2012）年に内陸部の自治体で初めて「海ごみサミット」を開催し、保津川から海ごみを無くす取組を発信してきました。また、保津川をはじめとする自然景観や市民の生活環境、観光に大きな影響を与えるだけでなく、市の魚であるアユモドキに代表される川の生態系にも影響を及ぼす使い捨てプラスチックごみを無くしていくための運動を展開しています。 こうした取組を更に推進することで、市民一人ひとりの行動や地域における様々な活動を通じて地球環境問題の解決をリードする環境先進都市として先導的な役割を果たすことが求められています。【図表挿入】	地球規模での人口増加や経済規模の拡大の中で、人間の活動に伴う地球環境への負荷が増大し、地球温暖化や生物多様性の喪失、プラスチックごみによる海洋汚染などの地球規模の環境問題をもたらしています。このような環境の危機を踏まえ、 平成27（2015）年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示されたSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）（※）が掲げる17の国際目標の一つとして、気候変動対策や海洋資源の保全が位置づけられたほか、平成27（2015）年にCOP21（Conference of Parties：気候変動枠組条約締結国会議）で採択された「パリ協定」 において、温室効果ガスの削減に向けた国際的な合意がされました。また、令和元（2019）年には、大阪で開催されたG20サミット（金融・世界経済に関する首脳会合）において、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を2050年までにゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されるなど、世界が持続可能な社会の実現に向けて動き出しています。 本市においても、平成24（2012）年に内陸部の自治体で初めて「海ごみサミット」を開催し、 保津川から 海ごみを無くす取組を発信してきました。また、保津川をはじめとする自然景観や市民の生活環境、観光に大きな影響を与えるだけでなく、市の魚であるアユモドキに代表される川の生態系にも影響を及ぼす使い捨てプラスチックごみを無くしていくための運動を展開しています。こうした取組を更に推進することで、市民一人ひとりの行動や地域における様々な活動を通じて地球環境問題の解決をリードする環境先進都市として先導的な役割を果たすことが求められています。 【図表挿入】	●環境問題に特化してSDGsを紹介せずに削除。 【市議会意見】

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見
4	6	第2章 亀岡市を取り巻く社会経済の潮流 7 「withコロナ」～コロナ後の社会に向けた変化の胎動	7 「withコロナ」～コロナ後の社会に向けた変化の胎動 新型コロナウイルス感染症の拡大は、生活様式の変化をはじめ社会・経済に大きな影響を及ぼしました。感染拡大防止の観点から、外出自粛が余儀なくされる中で、ICT技術を活用したテレワークやリモートワークによる働き方が広がるとともに、学校等における遠隔授業、医療機関における遠隔診療などにも大きな関心が寄せられています。 このような人々の生活行動や経済活動における変化が、社会の構造にも影響を及ぼしつつあり、特に、感染が容易に生じやすい“3密”（密閉・密集・密接）といわれる状態が常態化し易い大都市の脆弱性が明らかになる中で、都市集中型の社会から地方分散型の社会への移行の必要性が指摘されています。 こうした流れに対応して、京都や大阪の大都市圏に隣接する利便性と、豊かな自然や美しい田園景観を有する本市は、そのポテンシャルを生かして、コロナ後の社会に適応した新しいライフスタイルや経済活動を展開できるまちとして発展していくことが期待されています。	7 「ポストコロナ社会」に向けた変化の胎動 新型コロナウイルス感染症の拡大は、生活様式の変化をはじめ社会・経済に大きな影響を及ぼしました。感染拡大防止の観点から、外出自粛が余儀なくされる中で、ICT技術を活用したテレワークやリモートワークによる働き方が広がるとともに、学校等における遠隔授業、医療機関における遠隔診療などにも大きな関心が寄せられています。 このような人々の生活行動や経済活動における変化が、社会の構造にも影響を及ぼしつつあり、特に、感染が容易に生じやすい“3密”（密閉・密集・密接）といわれる状態が常態化し易い大都市の脆弱性が明らかになる中で、都市集中型の社会から地方分散型の社会への移行の必要性が指摘されています。 こうした流れに対応して、京都や大阪の大都市圏に隣接する利便性と、豊かな自然や美しい田園景観を有する本市は、そのポテンシャルを生かして、 ポストコロナ 社会に適応した新しいライフスタイルや経済活動を展開できるまちとして発展していくことが期待されています。	●「コロナ後の社会」の表現が適切か。 【審議会意見】
5	7	第3章 亀岡市のまちづくりの進展 【交通ネットワーク基盤の充実】	【交通ネットワーク基盤の充実】 平成22(2010)年にはJR山陰本線(嵯峨野線)の複線化工事が完成し、平成25(2013)年には京都縦貫自動車道の京都第二外環状道路が完成し、続いて平成27(2015)年には全線が開通しました。	【交通ネットワーク基盤の充実】 平成22(2010)年にはJR山陰本線(嵯峨野線)の複線化工事が完成し、平成25(2013)年には京都縦貫自動車道の 沓掛～大山崎間 である京都第二外環状道路が完成し、続いて平成27(2015)年には全線(宮津～大山崎間)が開通しました。	●区間を表記すべき 【審議会意見】
6	7	第3章 亀岡市のまちづくりの進展 【スタジアムを核としたまちづくり】	【スタジアムを核としたまちづくり】 令和2(2020)年に「府立京都スタジアム」が竣工し、スポーツを通じた青少年の健全育成はもとより、 <u>地域のにぎわいを喚起するまちづくりの拠点としての活用を進めることと</u> しています。また、令和2(2020)年大河ドラマの放送を契機とした「大河ドラマ館」の設置による歴史の観光資源としての活用、平成30(2018)年「かめおか霧のテラスの設置」、平成30(2018)年から「かめおか霧の芸術祭の開催」といった亀岡市ならではの取組も進めており、三大観光(嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉)と合わせ、本市の新たな魅力を創出しています。	【スタジアムを核としたまちづくり】 スポーツを通じて青少年に夢や希望、勇気を与えるとともに、 地域にぎわいを呼び起こす新たなまちづくりの拠点として、令和2(2020)年に「府立京都スタジアム」が竣工しました。周辺に生息する天然記念物アユモドキなどの生態系を保全するために様々な対策を講じて完成した自然共生型のスタジアムです。スタジアムを中心に、本市の新たな発展の核となる都市整備が進展しています。 また、同年のNHK大河ドラマの放送を契機とした「大河ドラマ館」の設置による 亀岡を舞台とした歴史の観光資源としての活用 、平成30(2018)年「かめおか霧のテラスの設置」、平成30(2018)年から「かめおか霧の芸術祭の開催」といった亀岡市ならではの取組も進めており、三大観光(嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉)をはじめとする 観光資源と合わせて、多様なスポーツやアクティビティを活用して、本市の新たな魅力を創出しています。	●本項だけが令和2年までの経過や関連の記述に欠ける。スタジアムの近隣は遊水機能を有する地域で、水害防止やアユモドキ保全の努力が払われてきたこと、スタジアムの場所選定や関連工事の経緯を簡略に追記すべき。 ●“略 湯の花温泉”をはじめ多様な観光資源”とすべき。 ●略 湯の花温泉)をはじめとする観光資源と合わせて、多 【市議会意見】 【市議会意見】 【審議会意見】

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見
7	8	第3章 亀岡市のまちづくりの進展 【環境先進都市を目指す取組】	<p>【環境先進都市を目指す取組】 平成24（2012）年の内陸部自治体での開催は初となる「海ごみサミット」を契機として、平成26（2014）年からプラスチック製容器包装とペットボトルの分別収集の開始、平成30（2018）年の“かめおかプラスチックごみゼロ宣言”、さらに令和元（2019）年には環境問題について考え行動する機会が増えることを願い、「KAMEOKA FLY BAG Project」の実施、令和2（2020）年「亀岡市ポイ捨て等禁止条例」の制定、同年、全国初の「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」の制定へとつなげるとともに、エネルギーの地産地消として平成30（2018）年には地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー株式会社」の設立、平成31（2019）年には下水処理時に発生する消化ガスの発電事業化など、全国に先駆けた取組を推進し、世界に誇れる環境先進都市を目指しています。</p>	<p>【環境先進都市を目指す取組】 平成24（2012）年の内陸部自治体での開催は初となる「海ごみサミット」を契機として、平成26（2014）年からプラスチック製容器包装とペットボトルの分別収集の開始、平成30（2018）年の“かめおかプラスチックごみゼロ宣言”、令和元（2019）年には環境問題について考え行動する機会が増えることを願い、「KAMEOKA FLY BAG Project」を実施しました。 さらに、令和2（2020）年には「亀岡市ポイ捨て等禁止条例」の制定、同年、全国初の「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」の制定へとつながっています。 また、エネルギーの地産地消として、平成30（2018）年には地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー株式会社」の設立、平成31（2019）年には下水処理時に発生する消化ガスの発電事業化など、全国に先駆けた取組を推進し、世界に誇れる環境先進都市を目指しています。</p>	<p>★事務局文言整理</p> <p>【事務局】</p>
8	9	第4章 亀岡市の人口見直し 1 10年後の定住人口	<p>1 10年後の定住人口 （上部5行目） 社会減は平成11（1999）年に転入超過から転出超過に転じて以降継続しており、一方、自然減も平成21（2009）年から継続して発生しています。平成27（2015）年から令和元（2019）年までの最近5年間では、転出超過による社会減が1,782人、自然減が1,304人となっています。</p>	<p>1 10年後の定住人口 （上部5行目） 社会減は平成11（1999）年に転入超過から転出超過に転じて以降継続しており、一方、自然減も平成21（2009）年から継続しています。平成27（2015）年から令和元（2019）年までの最近5年間では、転出超過による社会減が1,782人、自然減が1,304人となっています。</p>	<p>★事務局文言整理</p> <p>【事務局】</p>
9	9	第4章 亀岡市の人口見直し 1 10年後の定住人口	<p>このような現状を踏まえると、本市の定住人口を維持し拡大していくためには、若年層を中心とする転出超過を転入超過に転換していくことや、子どもを産みたい人が安心して産むことができる環境を整えて合計特殊出生率を引き上げていくことが必要です。一方で、こうした政策が人口増加効果をもたらすまでには相当の時間を要することから、長期的な視点で取組を進める必要があります。</p>	<p>このような現状を踏まえると、本市の定住人口を維持し拡大していくためには、若年層を中心とする転出超過を転入超過に転換していくことや、安心して子育てできる環境を整えて合計特殊出生率を引き上げていくことが必要です。一方で、こうした政策が人口増加効果をもたらすまでには相当の時間を要することから、長期的な視点で取組を進める必要があります。</p>	<p>●「子どもを産みたい人」は「産む」なので「女性」を示します。「産みたい」けど「産めない」女性に対する配慮がない表現である。環境を整える具体的施策が例えば、不妊治療ならば、治療が必要なのは女性に限らないので、「子どもを持ちたい人」という表現だと、男性も女性も含む意味になる。また、女性が妊娠中や出産後において、以前のさまざまな活動が両立できる環境の意味ならわかるように表現を。</p> <p>【パブリックコメント】</p>

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見	
10	9、10	第4章 亀岡市の人口見直し	社人研	国立社会保障・人口問題研究所	★事務局文言整理	【事務局】
11	10	第4章 亀岡市の人口見直し	亀岡市人口シミュレーション：2030年に向かってUIJターンなどにより、転出超過が段階的に解消され、かつ合計特殊出生率が段階的に1.8まで向上すると仮定した場合	亀岡市人口シミュレーション：2030年に向かってUIJターンなどにより、転出超過が段階的に解消され、 かつ合計特殊出生率については、人口減少に歯止めがかかり、定常状態（人口規模及び構造が安定する状態）になる考え方として、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」で2030年に1.8程度を仮定されていることを踏まえ、合計特殊出生率が段階的に1.8まで向上した場合を仮定する。	●1.8の根拠が不明、なぜ1.8になるのか説明が必要。	【市議会】
12	11	第4章 亀岡市の人口見直し (交流・関係人口の拡大)	(交流・関係人口の拡大) 日常の通勤・通学以外で、観光やイベント参加などのために本市を訪れるいわゆる交流人口のほか、本市で生産される農林畜産品や商工業品を嗜好して購入したり利用する人、さらには本市のまち・歴史・文化などに興味・関心を持つ人など、本市の活力・にぎわいに関連する幅広い人口層（関係人口）が想定できます。 本市の観光入込客数は令和元（2019）年で約347万人となっています。近年のインバウンド観光の追い風を受けて、三大観光（嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉）を中心に増加傾向にあり、平成27（2015）年から令和元（2019）年にかけての増加率は29.7%となっています。今後も、「府立京都スタジアム」の完成やNHK大河ドラマの放送を契機に、スポーツ、歴史・文化などの魅力が向上し、既存の観光資源との相乗効果により、さらなる観光客の増加につながることが予測されます。 本市は、こうした交流人口や関係人口の拡大を図るため、 <u>観光、産業、文化振興はもとより地域の魅力を広く発信するシティプロモーションの強化を図ります。</u>	(交流・関係人口の拡大) 日常の通勤・通学以外で、観光やイベント参加などのために本市を訪れるいわゆる交流人口のほか、本市で生産される農林畜産品や商工業品を嗜好して購入したり利用する人、さらには本市のまち・歴史・文化などに興味・関心を持つ人など、本市の活力・にぎわいに関連する幅広い人口層（関係人口）が想定できます。 本市の観光入込客数は令和元（2019）年で約347万人となっています。近年のインバウンド観光の追い風を受けて、三大観光（嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉）を中心に増加傾向にあり、平成27（2015）年から令和元（2019）年にかけての増加率は29.7%となっています。今後も、「府立京都スタジアム」の完成やNHK大河ドラマの放送を契機に、スポーツ、歴史・文化などの魅力が向上し、既存の観光資源との相乗効果により、さらなる観光客の増加につながることが予測されます。 令和2年（2020）年には、新型コロナウイルス感染症によるインバウンドの減少などの影響がみられますが、中長期的な視点で交流人口や関係人口はもとより地域の魅力を広く発信するシティプロモーションの強化を図ります。	●新型コロナウイルスの影響と今後のwithコロナへの対策が記されていない。	【市議会意見】

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見	
13	12	第2部 まちづくりの展望 第1章 目指す都市像	<p>■目指す都市像の意図 (9行目) 一方で進学・就職を契機とした若年層の流出により、<u>全国平均を上回るスピード</u>で人口減少が進んでおり、</p> <p>(下部6行) 本市は、このSDGsの理念のもとに「SDGs未来都市」として、特色ある豊かな資源を生かし、持続可能な環境・経済・社会を創造するための先駆的な取組みを進めます。 良好な暮らしの環境や安全・安心の確保、定住・交流の促進など、あらゆる分野におけるまちづくりについて、時代をリードする新たな取組に挑戦しながら、その成果をまちの魅力に還元し、<u>全国に、そして世界に発信していくことで市民とともに、輝かしい未来を切り拓いていくまちを目指します。</u></p>	<p>■目指す都市像の意図 (9行目) 一方で進学・就職を契機とした若年層の流出により、<u>全国平均を上回るスピード</u>で人口減少が進んでおり、</p> <p>(下部6行) 本市は、このSDGsの理念を市民みんなで共有し、「SDGs未来都市」として、特色ある豊かな資源を生かし、持続可能な環境・経済・社会を創造するための先駆的な取組みを進めます。 良好な暮らしの環境や安全・安心の確保、定住・交流の促進など、あらゆる分野におけるまちづくりについて、次の時代をリードするまちを「リーディングシティ」と位置づけ、人に選ばれるまちを目指し、市民とともに輝かしい未来を切り拓いていきます。</p>	<p>●“全国平均を上回るスピードで”削除</p> <p>★事務局文言整理</p> <p>●“リーディングシティ”というのが分かりにくい。</p>	<p>【審議会意見】</p> <p>【事務局】</p> <p>【市議会意見】</p>
14	13	第2章 重点テーマ 「1 子育てしたい、住み続けたいまちへ」	<p>1 子育てしたい、住み続けたいまちへ 【考え方】：少子化や若年層の転出超過を踏まえ、子育てワンストップ窓口である「BCome+」の充実や妊娠期からの切れ目のない支援の推進を図るとともに、自然保育や子どもの遊び場整備を進めるなど、楽しく安心して子育てができる環境を整えます。誕生から教育まで全ての子どもの将来への希望と地域への愛着を育むことにより、住み続けたい、転出しても帰ってきたいまちづくりを進めます。</p>	<p>1 子育てしたい、住み続けたいまちへ 【考え方】：少子化や若年層の転出超過を踏まえ、子育てワンストップ窓口である「BCome+」の充実や妊娠期からの切れ目のない支援の推進を図るとともに、自然保育や子どもの遊び場整備を進めるなど、楽しく安心して子育てができる環境を整えます。また、誕生から教育まで全ての子どもの将来への希望と地域への愛着を育みます。併せて、健やかに暮せる福祉・健康のまちづくりを進め、すべての市民が住み続けたい、転出しても帰ってきたいまちづくりを目指します。</p>	<p>★事務局修正 福祉・健康の視点追加</p>	<p>【事務局】</p>
15	13	第2章 重点テーマ 「2 スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」	<p>2 スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ 【考え方】：「府立京都スタジアム」をはじめ様々な施設・フィールドで楽しむ多様なスポーツ、光秀・梅岩・応挙などに象徴される豊かな歴史文化、亀岡ゆかりの芸術家等により展開される新しい芸術運動、嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉を軸とする観光など亀岡の魅力を広く発信するとともに、それらの力を産業の活性化に結び付け地域経済の発展を目指します。</p>	<p>2 スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ 【考え方】：「府立京都スタジアム」をはじめ様々な施設・フィールドで楽しむ多様なスポーツ、光秀・梅岩・応挙などに象徴される豊かな歴史文化、亀岡ゆかりの芸術家等により展開される新しい芸術運動、嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉をはじめとする多様な観光など亀岡の魅力を広く発信するとともに、それらの力を産業の活性化に結び付け地域経済の発展を目指します。</p>	<p>●「（前略）湯の花温泉をはじめとする多様な観光」と修正すべき。</p>	<p>【市議会意見】</p>

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見	
16	13	第2章 重点テーマ 「3 世界に誇れる環境先進都市へ」	3 世界に誇れる環境先進都市へ 【考え方】：平成24（2012）年に内陸部の自治体では初めてとなる「海ごみサミット」を開催、平成30（2018）年12月には「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を发出、保津川をはじめとする自然景観や市民の生活環境、観光、多様な川の生態系を保全するとともに地球規模の海洋プラスチック汚染問題の解決を目指します。 「世界に誇れる環境先進都市」の実現に向けて、プラスチックごみ・廃棄物を出さない循環型社会やエネルギーの地産地消などによる脱炭素社会の実現、生物多様性の保全、自然と共生するエコ農業の普及など、地域資源を活用した持続可能なまちづくりに取り組みます	3 世界に誇れる環境先進都市へ 【考え方】：平成24（2012）年に内陸部の自治体では初めてとなる「海ごみサミット」を開催、平成30（2018）年12月には「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を发出しました。 「世界に誇れる環境先進都市」の実現に向けて、プラスチックごみ、廃棄物を出さない循環型社会やエネルギーの地産地消などによる脱炭素社会の実現、生物多様性の保全、自然と共生するエコ農業の普及など、地域資源を活用した持続可能なまちづくりに取り組みます	★事務局文言整理	【事務局】
17	13	第2章 重点テーマ 「4 だれもが安心して暮らせるセーフコミュニティ、多文化共生のまちへ」	「4 だれもが安心して暮らせるセーフコミュニティ、多文化共生のまちへ」 【考え方】：日本初のセーフコミュニティ国際認証都市として、市民協働による取組を継続していくとともに、市内企業への外国籍就労者の増加に対し、国籍に関わらず、互いを認め合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。	「4 だれもが安心して暮らせるセーフコミュニティ、多文化共生のまちへ」 【考え方】：日本初のセーフコミュニティ国際認証都市として、市民協働による取組を継続していくとともに、市内企業への外国籍就労者の増加に対し、国籍や民族などの文化的違いを互いに認め合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。	★事務局文言整理	【事務局】
18	14	第3章 土地利用の基本方針 (2) エリア別土地利用の方向 ウ. にぎわいのある商業地域	ウ. にぎわいのある商業地域 JR4駅周辺及び国道9号沿線の商業地域を多様化する消費行動を受け止め、活力ある経済活動が展開される地域活性化の拠点と位置付け、既存商店街の振興と併せ、新たな商業・業務機能の立地誘導を図ります。	ウ. にぎわいのある商業地域 JR4駅周辺及び国道9号沿線の商業地域を多様化する消費行動の変化を受け止め、活力ある経済活動が展開される地域活性化の拠点と位置付け、既存商店街の振興と併せ、新たな商業・業務機能の立地誘導を図ります。	★事務局文言整理	【事務局】
19	17	第3章 都市構造の基本方針 ⑥広域ネットワーク網	⑥ 広域ネットワーク網 京都都市圏に通じる京都縦貫自動車道に加えて、阪神大都市圏方面や整備が進捗する新名神高速道路に繋がる国道423号などの整備を促進します。	⑥ 広域ネットワーク網 阪神大都市圏方面や整備が進捗する新名神高速道路に繋がる国道423号などの広域的な道路網の整備を促進します。	★事務局修正文言整理 「京都都市圏…加えて」削除 ●「国道423号を含む道路網の整備を促進します」とした方がよい。	【事務局】 【市議会意見】

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見	
20	17	2 都市構造の基本方針 ■都市構造図			<p>●方面表示を補足すべき</p> <p>対応 ↓ 姫路方面を補足+矢印整理(イメージ図のため)</p>	【審議会意見】
21	18	3 ゾーン別地域振興の基本方針 ②市街地ゾーン	京都市方面等へのアクセス強化を目指した広域幹線道路の整備要請	京都市方面等へのアクセス強化を目指した広域幹線道路の整備要請 (国道9号のいわゆるダブルルート化)	●(国道のダブルルート化)を追加すべき。	【市議会意見】
22	19	3 ゾーン別地域振興の基本方針 ②市街地ゾーン ②-3 ■JR亀岡駅北	<p>■JR亀岡駅北側のゾーン</p> <p>「府立京都スタジアム」を中核に、スポーツ・商業・ホテル(宿泊機能)・公園など、魅力あふれる誘客機能が集積し、本市の新たな顔となるゾーンとして、魅力的な都市的機能・サービスを提供するとともに、鉄道駅に近接した利便性の高い住宅地の整備を促進します。</p>	<p>■JR亀岡駅北側のゾーン</p> <p>「府立京都スタジアム」を中心に、本市の新たな顔となる都市核を形成するゾーンとして、JR亀岡駅に近接した利便性の高い立地条件を生かして、住宅、商業、ホテル、公園などの都市機能が集積する魅力的な市街地の整備を促進します。</p>	★事務局文言整理	【事務局】
23	20	3 ゾーン別地域振興の基本方針 ■ゾーン区分図			●イメージ図とはいえ、市域の一部が楕円から外れているのはよくない。	【市議会意見】

No.	頁	計画の内容	修正前	修正後	意見
24	23	第3部 施策の基本方針 第3 子育て・福祉・健康のまちづくり	子育て世代が、安心して子育てできる環境づくりと併せ、子どもの権利を守り未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるまちづくりを進めるとともに高齢者・障がいのある人の自立した生活を支えるため、保健・医療・福祉・介護の連携強化を図ります。 また、身近な地域で支え合う地域福祉の促進や、誰もが健康で安心しながら、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。 市民や地域の主体的な健康づくりへの支援や安心して医療にかかることができる医療体制の充実、新型コロナウイルス感	子育て世代が、 安心して子育てできる環境づくりと併せ、子どもの権利を守り未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるまちづくりを進めるとともに、高齢者・障がいのある人の自立した生活を支えるため、保健・医療・福祉・介護の連携強化を図ります。 また、身近な地域で支え合う地域福祉の促進や、誰もが健康で安心しながら、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。 市民や地域の主体的な健康づくりへの支援や安心して医療にかかることができる医療体制の充実、新型コロナウイルス感	●“子育て世代が、”削除 【審議会意見】
25	24	第3部 施策の基本方針 第4 豊かな学びと文化を育むまちづくり	——— 学校教育・就学前教育	——— 就学前教育・学校教育	●第4次亀岡市総合計画同様、「就学前教育・学校教育」の方がよい。 【市議会意見】
26	25	第5 地球にやさしい環境先進都市づくり	地球環境・省エネルギー 資源循環・廃棄物処理 自然環境 公園緑地	地球環境・自然環境 資源循環・廃棄物処理 公園緑地	「●地球にやさしい環境先進都市づくり」のタイトルにふさわしいように、最近の“かめおかプラスチックごみゼロ宣言”などの取組も踏まえて、編成替えをしてはどうか。（基本計画含む） 【市議会意見】
27	28	第3部 施策の基本方針 第8 効率的で持続可能な行財政運営	（最下部から4行目） また、行政課題に迅速に対応できる柔軟で簡素な組織づくりと、職員の意識改革・人材育成を進めます。	（最下部から4行目） また、行政課題に迅速に対応できる柔軟で効率的な組織づくりと、職員の意識改革・人材育成を進めます。	★事務局文言整理 【事務局】

28	% %		4	<p>_____</p> <p>_____</p>	<p>_____</p> <p>_____</p>
29	% %		4		G B G
30	% %		5	<p>X ÷ ' y { C s 6 π y , _____</p> <p>_____ G B G</p>	<p>X ÷ ' y { C s 6 π y , _____</p> <p>_____ G B G</p>

